

これまでに検討された項目の整理について(案)

昨年12月17日の中医協基本問題小委員会において、「新たな「機能評価係数」に関する基本的考え方」がまとめられたことを受けて、その考え方に従い、当分科会においてこれまでに検討してきた項目及び、各委員から提案されている項目についての整理を行った。

1. 医療の透明化・効率化・標準化・質の向上等の評価について

- (1) 透明化の評価
 - ア. 部位不明・詳細不明コードの発生頻度による評価
- (2) 効率化の評価
 - ア. 効率性指数による評価
 - イ. 後発医薬品の使用状況による評価
- (3) 標準化の評価
 - ア. 手術症例数又は手術症例割合に応じた評価
 - イ. 診療ガイドラインに沿った診療の割合による評価（山口直人委員）
 - ウ. 標準レジメンによるがん化学療法との割合による評価
- (4) 医療の質の評価
 - ア. 術後合併症の発生頻度による評価
 - イ. 重症度・看護必要度による改善率（嶋森委員）
 - ウ. 医療安全と合併症予防の評価（嶋森委員）
 - エ. 退院支援及び再入院の予防の評価（嶋森委員）

2. 社会的に求められている機能・役割の評価について

- (1) 特殊な疾病等に係る医療の評価
 - ア. 複雑性指数による評価
 - イ. 副傷病による評価
 - ウ. 診断群分類のカバー率による評価
 - エ. 希少性指数による評価
 - オ. 難病や特殊な疾患等への対応状況の評価（熊本委員）
- (2) 高度な機能による評価
 - ア. 高度な設備による評価
 - イ. 特定機能病院又は大学病院の評価（小山委員）
 - ウ. がん、治験、災害等の拠点病院の評価（小山委員）
 - エ. 高度医療指数（池上委員）

3. 地域医療への貢献の評価について

(1) 地域での役割の評価

- ア. 医療計画で定める事業について、地域での実施状況による評価
(熊本委員)
- イ. 救急・小児救急医療の実施状況による評価
(相川委員、熊本委員、嶋森委員)
- ウ. 救急医療における患者の選択機能の評価 (嶋森委員)
- エ. 産科医療の実施状況の評価
- オ. 地域医療支援病院の評価 (小山委員)
- カ. 地域中核病院の評価 (小山委員)
- キ. 小児科・産科・精神科の重症患者の受け入れ体制の評価 (小山委員)
- ク. 全診療科の医師が日・当直体制をとっていることの評価 (小山委員)

4. その他

(1) 医療提供体制による評価

- ア. 医師、看護師、薬剤師等の人員配置による評価
(小山委員、酒巻委員、嶋森委員)

(2) 望ましい5基準に係る評価

- ア. ICU入院患者の重症度による評価
- イ. 全身麻酔を実施した患者の割合による評価
- ウ. 病理医の数による評価
- エ. 術中迅速病理組織標本作製の算定割合による評価

(3) その他

- ア. 新規がん登録患者数 (酒巻委員)
- イ. 高齢患者数の割合による看護ケアの評価 (熊本委員)
- ウ. 入院患者への精神科診療の対応の評価 (熊本委員)
- エ. チーム医療の評価 (熊本委員)

※ ○印は今回新たに委員から提案された項目である。